

— 農の雇用事業による取組事例 —

秋田県大仙市 農事組合法人新興エコファーム

- 外部の研修会参加による他の生産者との交流等を通じて、研修生自らスキルアップする機会を創出。
- 将来的に経営に参画してもらうことを見据え、目標やキャリアアップの道筋を明確化。

(農)新興エコファームの概要

【設立】平成19年7月

【代表者】細川 良喜

【売上】9,000万円

【事業内容】水稲、小麦、野菜、椎茸の生産・加工・販売、直売所経営

【経営面積】水稲30ha、小麦6.7ha、枝豆5ha、その他1.5ha、椎茸12,000菌床

【主要取引先】地元スーパー、JA、直売所

【従業員数】正社員4人、構成員9人

【所在地】秋田県大仙市太田町齊内宇南萩島165-1



研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修1年目は、生産技術や機械操作など業務を幅広く経験することで農業に慣れながら、全般的な農業技術を身に付けます。
- ・研修2年目は、「見て覚える大切さ」をテーマに、1年目の経験を活かし、自ら考えて業務を行えるよう指導・助言を行います。
- ・得意分野を見定めながら、研修内容の専門性を高め、スキルを向上させています。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・JAの部会など各研修会に参加させることにより、研修生が他の生産者との交流や外部研修を通じて、自らスキルアップする機会を設けています。
- ・研修日報の相互チェックや全従業員へ研修状況を共有化することにより、会社は「人を育てる」、研修生は「一人前に育つ」という意識を強く持つことができています。
- ・研修生と十分に話し合いながらキャリアプランを作成し、役員になるまでの道筋を明確に示しています。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・農の雇用事業でのOJT研修後は、担当部門の責任者として部門経営を任せ、収支を含めた管理を行ってまいります。
- ・将来的には経営に参画してもらい、地域の担い手として活躍してもらいたいと考えています。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・生産技術や機械操作など全般的な農業技術の習得

部門責任者(3年目～)

- ・収支を含めた生産・コスト管理
- ・人材育成、他部門との調整

法人役員(能力次第)

- ・地域の担い手法人として経営展開